

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 平尾

山名	亀山7座 野登山 (851m)	山行名	例会
ルート	坂本棚田駐車場～ミツマタ群生地～仙鷄尾根分岐～国見広場～野登山山頂～西峰～野登寺～表参道～坂本棚田駐車場		
山行日	2025年4月1日(火)	天候	曇り
参加者	CL 平尾、SL 永井、川田(真)、多田、藤本、森田、米田、和田/8名		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時:分	地名	時:分	
京田辺	発	6:08	野登山山頂	着	11:47
	着	8:20		発	12:02
坂本棚田駐車場	着	8:20	西峰	着	12:15
	発	8:38		発	12:25
ミツマタ群生地	着	9:21	野登寺	着	12:30
	発	9:37		発	12:35
仙鷄尾根分岐	着	10:42	だんだん滝	着	13:56
	発	10:43		発	13:56
国見広場	着	11:12	坂本棚田駐車場	着	14:15
	発	11:45		発	

R307を信楽ICから新名神に入り鈴鹿ICで降りると、北に見える山並みが仙鷄尾根。駐車場は、平日なのか車は1台のみ。準備をしていると、小雨がばらつきだしたので雨具を着たがすぐに止んだ。日本の棚田百選の「坂本の棚田」の農道から獣害防止柵を開け、しばらく林内の整備された林道を進む。川を右岸に渡ったところが登山口で、ここから道が狭くなり傾斜のある登山道が始まった。数分歩くとミツマタ群生地にさしかかり、ミツマタを背景に撮影。スギ林の中にミツマタが広がり、白い萼筒の先の4つに裂けた内側が黄色くなっていた。ただ木が小さいので花はまばらでボリュームは少ない。作業小屋跡で休憩、写真撮影タイムとした。花をしっかりとカメラにおさめたら、ミツマタ尾根とよばれる狭い岩がらみの急な尾根筋を登っていき、仙鷄尾根分岐に出る。左手亀山7座最高峰の仙ヶ岳に向かう尾根は数十mの登りが迫り、右の野登山への尾根も傾斜があり負けず劣らずの急登。上に白いガードレールが見えると間もなく車道に出た。左手の野登山方面へ向かい、分岐を左に入り国見広場へ行き、昼食タイムとした。広々としたところで伊勢湾まで眺められるところだが、あいにくのガスで鈴鹿の山並みや鈴鹿の市街地は霞んでいた。休憩後、引返し野登山山頂をめざす。倒木を越えアセビの花が咲く湿地もある林内をいくと、右手の少し高いところが山頂。立体浮き出しや英字の標識があった。三重県天然記念物のブナ原生林を下り、西峰に向かう。西峰は874mで野登山山頂より少し高いが、付近は広い空地になっており、石に字が書ける白い石が散らばっていた。急な崖道を降りて右手に見える野登寺へ向かった。野登寺は、910年建立で鶏足山とも呼ばれていたが、一時消失しその後復興されたとあった。小さなトイレがあった。スギの巨木に囲まれた石段を下りると、石の祠に入った三十三観音が順に並んでいた。右へ表参道を下る。途中だんだんを見事に流れるだんだん滝が珍しかった。ミツマタやスイセン、ボケなどの花が咲く里山の集落をのんびり駐車場にむかうと、途中の棚田にはツクシや咲き終わりのフキがあり、さっそく今夜の食卓を飾ることになった。昼前まで少雨の予報もあったので、コースを逆回りにすることも検討したが、計画通り仙鷄尾根分岐手前の岩がらみの狭いミツマタ尾根を登りに利用したのはよかった。のんびりと楽しめた山行だった。三重県の山ではあるが、滋賀一周トレイルが亀山7座をその一部としているので、滋賀一周トレイルシリーズの(3)といたします。

YAMAP : 9.5 km、上 829m/下 826m、5時間 37分

ヒヤリハット なし

## 藤本

甘い香りがする可愛いミツマタが見れて、未踏破の山、日にちもOKだったので1年3ヶ月ぶりに山行に参加しました。久々の参加で2.3日前は緊張してましたが前夜はぐっすり眠れました。

ゆっくりなペースだったので息切れもせず登れ、CLにはお花の説明も色々説明して頂き、秋にはブナの実を食べてみようかと又山の楽しみが増えました。ご一緒した皆さんとも楽しい一日を過ごせたことに感謝。ありがとうございました。

## 川田(真)

坂本の棚田をスタートし、ミツマタの群生地では其処此処に可愛い黄色のミツマタが現れ写真タイムとなりました。ブナ林ではブナの葉っぱの見分け方をご教示いただいたり、道端に見つけたツチグリと言う星形のきのこを教えていただいたり、新しい発見が楽しい山行でした。ペースも良くして楽に登れました。最後はたくさんの土筆を見つけての春の訪れを感じました。ありがとうございました。



ミツマタ群生地



野登山山頂



ミツマタ (ジンチョウゲ科)



野登寺



天然記念物のブナ林



シキミ



キブシ



坂本棚田